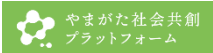


学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時： 令和5年5月11日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択
 2. 文部科学省「地域ニーズに応える産学官連携を通じたりカレント教育プラットフォーム構築支援事業」に採択
- 
3. 千葉貴之准教授が令和5年度文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞
～次世代発光材料のペロブスカイトナノ結晶に関する独創的な研究が評価～
 4. 「陸上競技を体験しよう（前期）」を開催します
- 
5. 山形大学小白川キャンパス運動施設一般公開デー 「地域共創スポーツイベント
大学でからだを動かそう！」を開催
- 

お知らせ

1. 国立大学法人山形大学とニシム電子工業株式会社との連携協定締結のお知らせ
 2. 初心者向けドローン講習会を開講 ～仕事等で利用を検討している方に向けた社会人向け講座～
- 
3. AI Prompt Grand Prix 第1回AIプロンプトグランプリ開催！

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和5年6月1日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（5月11日）発表

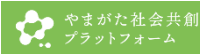
1. 文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択

理事（研究、産学連携担当）・副学長

いいづか 飯塚
ひろし 博

2. 文部科学省「地域ニーズに応える産学官連携を通じたりカレント教育プラットフォーム構築支援事業」に採択

副学長（社会共創担当）


おおもり かつら
大森 桂

3. 千葉貴之准教授が令和5年度文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞～次世代発光材料のペロブスカイトナノ結晶に関する独創的な研究が評価～

学術研究院 准教授（有機材料システム研究科）

ちば たかゆき
千葉 貴之

4. 「陸上競技を体験しよう（前期）」を開催します

健康と学びのサポートセンター 副センター長・陸上競技部顧問

地域教育文化学部4年・陸上競技部女子主将


わたなべ のぶあき
渡邊 信晃
ばん のぞみ
阪 希望

5. 山形大学小白川キャンパス運動施設一般公開デー 「地域共創スポーツイベント大学でからだを動かそう！」を開催

健康と学びのサポートセンター 副センター長・陸上競技部顧問

地域教育文化学部4年・陸上競技部女子主将

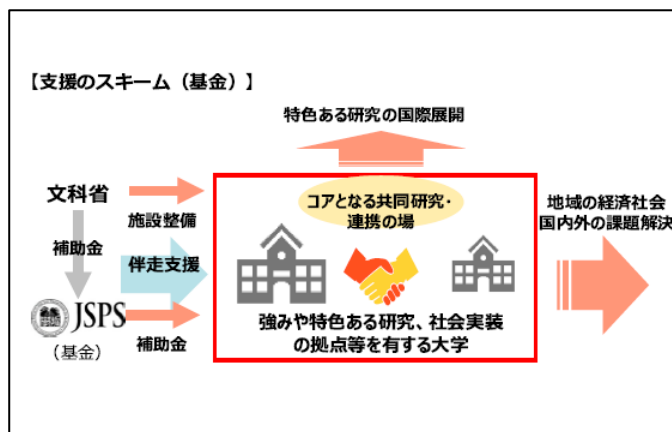

わたなべ のぶあき
渡邊 信晃
ばん のぞみ
阪 希望

令和5年（2023年）5月11日

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による 産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採択

【本件のポイント】

- 文部科学省の令和4年度補正予算「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に本学が採択。米沢キャンパスにおいて、2施設の増築・改修を実施。
- 本学の強みである有機材料研究分野の卓越性を最大限に発揮し、世界レベルの企業との共同研究拡大、スタートアップ企業創出等を図る。
- 今後、文部科学省が最大25大学に支援を予定している「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」への申請を検討。



【概要】

文部科学省の令和4年度補正予算「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に本学が採択（申請件数56件のうち、採択30件）されました。

同事業は、強みや特色ある研究、社会実装の拠点等を核とした研究力の向上戦略の実行に必要な共同研究や産学官によるオープンイノベーションの創出等に必要施設の整備を支援することで、大学の機能強化を図ることが目的の事業です。

本学は、同事業において、東北大学と会津大学と連携し、米沢キャンパスの山形大学 GX 共創センター（仮称）（現：国際事業化研究センター）、有機エレクトロニクスイノベーションセンターの増築・改修を行います。本学最大の強みである有機材料研究を基盤とし、環境にやさしい機能材料・次世代デバイス・製造技術におけるグリーントランスフォーメーション（GX）を推進し、社会課題に関連した環境・エネルギー・医療・農業分野への裾野の拡大を進め、国内外の社会課題解決や新産業創出などのイノベーション創出を目指します。

文部科学省では、日本の研究力をけん引する研究大学群の形成のため、大学ファンドによる国際卓越研究大学に対する支援とともに、地域の中核・特色ある研究大学に対する支援を強化するため、本年5月以降に「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」（基金1,498億円）の公募を予定（最大25大学）しています。本学では、我が国の研究大学の一翼を担うとともに、山形地域から世界の多様な人々を時間と空間を越えてつなぐ「イノベーション・コモンズ」として地域と共に発展するため、同事業への申請を検討しています。

<参考> 「地域中核・特色ある研究大学の連携による 産学官連携・共同研究の施設整備事業」の採択大学を決定しました（令和5年4月21日）

文部科学省 HP https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2023/mext_01231.html

お問い合わせ

研究情報部（五味・下間）

TEL 023-628-4844

メール yu-k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

整備施設(イメージ) イノベーション commons Science & Innovation

非競争領域 (基礎研究)

競争領域 (応用開発・製品技術・実用化開発)

事業領域 (製品・事業)



有機エレクトロニクス
研究センター
(5700m²) since 2011

ROEL



グリーンマテリアル
成形加工研究センター
(2800 m²) since 2015

GMAP



有機材料システム
フロンティアセンター
(10000m²) since 2016

FROM



増築
改修

有機エレクトロニクス
イノベーションセンター
(4000m²) since 2013

INOEL



有機材料システム
事業創出センター
(1200m²) since 2018

YBSC

イノベーション commons
エリア S (Science)
多様性・卓越性

- ・Top10%論文数
- ・国際共著論文数
- ・国内研究機関との連携
- ・企業との包括共同研究

連携強化
相乗効果



- ・産業界との大型共同研究
- ・コンソーシウム型共同研究
- ・グローバル・スタートアップ
- ・海外進出企業との連携
- ・ジェトロ・インターナショナル・コラボレーション・オフィス設置

イノベーション commons
エリア I (Innovation)
社会実装・イノベーション

(仮称) 山形大学GX共創センター ※現 国際事業化研究センター



増築
改修

令和5年（2023年）5月11日

文部科学省「地域ニーズに応える産学官連携を通じたりカレント教育プラットフォーム構築支援事業」に採択

【本件のポイント】

- 文部科学省「地域ニーズに応える産学官連携を通じたりカレント教育プラットフォーム構築支援事業」に本学申請の「山形県における包括的な産学官金医連携の枠組みを活用した地域リカレント教育の定着促進サイクル」が採択されました（申請数:26、採択数12（別紙申請・採択状況参照））。
- 本事業により、昨年10月に設置した「やまがた社会共創プラットフォーム」の枠組みを最大限活用し、産官学金医を交えた「リカレント教育推進部門（仮称）」を新設します。
- 今後、同省との契約締結後、県内リカレント教育のシーズ・ニーズの調査とマッチングを行い、新たな教育プログラムの開発やコンテンツ集約・広報を実施し、山形県におけるリカレント教育を加速させます。



【概要】

文部科学省が令和4年度補正予算に計上した「地域ニーズに応える産学官連携を通じたりカレント教育プラットフォーム構築支援事業」に、**本学が申請した「山形県における包括的な産学官金医連携の枠組みを活用した地域リカレント教育の定着促進サイクル」が採択**されました（公募期間：1/31～3/10、申請数:26、採択数12（別紙申請・採択状況参照））。

本事業は、1. 地域に分散している人材ニーズの調査・把握、2. 教育コンテンツの集約、3. それらのマッチング、4. 広報・周知等を産業界のニーズを踏まえながら効果的・効率的に実施する体制を整備できるよう、産官学金医の対話の場の構築や、コーディネーターの配置等に必要な経費を措置し、地域ニーズに応える人材の継続的な輩出に向けた仕組みの定着化を図るものです。本学の申請は、昨年10月に山形県内全ての高等教育機関（13機関）、山形県と県内35全市町村、山形県商工会議所連合会、山形県銀行協会、山形県経営者協会、山形県医師会など10の県内主要関係団体、あわせて59機関が加盟する「**やまがた社会共創プラットフォーム**」を設置していること等が評価されました。

今後は、上記プラットフォームの枠組みを最大限活用し、**産官学金医を交えた山形県におけるリカレント教育の対話の場「リカレント教育推進部門（仮称）」を設置し、本学を中心に県内リカレント教育に関するシーズ・ニーズ調査・分析を行い、県内で不足している分野とのマッチングや、新たな教育プログラムを開発**します。

さらに、県内に散在するコンテンツを集約・広報することで、県内受講希望者に幅広くかつ効率的にアピールし、県内におけるリカレント教育を産学官金医で強力に推進します。

【参考資料】

○「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」（文科省ウェブ사이트）（https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/manabinaoshi/mext_00006.html）

○やまがた社会共創プラットフォーム（<https://www.yamagata-u.ac.jp/yamapura/>）

○ 同 申請・採択状況（別紙のとおり）



○採択事業概要「山形県における包括的な産学官金医連携の枠組みを活用した地域リカレント教育の定着促進サイクル」（別紙のとおり）

お問い合わせ

総務部総務課社会共創推進事務室 長沼、岡崎
（やまがた社会共創プラットフォーム事務局）

TEL 023-628-4615

メール yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

機関名：国立大学法人山形大学

（山形県における包括的な産学官金医連携の枠組みを活用した地域リカレント教育の定着促進サイクル）

<事業概要>

ALLやまがたの枠組みであるやまがた社会共創プラットフォームを活用したリカレントプラットフォームの構築。

<目的・目標>

様々な地域課題について検討・実施する全県的な産学官金医の枠組みである「やまがた社会共創プラットフォーム」（令和4年10月設置）に「リカレント教育推進部門」（仮称）を新設し、調査分析とマッチングを行い、教育コンテンツの新規開発と域内での浸透を図る。

<組織体制>

やまがた社会共創プラットフォーム

山形県内全自治体

全高等教育機関

山形県内経済団体

山形県銀行協会

山形県医師会



「リカレント教育推進部門」（仮称）

各加盟機関の特色に応じ役割を整理し、課題の抽出・整理、解決プログラムを連携して開発。

【実施体制】

（事務局）

山形大学（調査/プログラム開発/部門総括）
（参画機関）

山形県経営者協会・山形県商工会議所連合会・山形県中小企業家同友会・東北芸術工科大学・東北公益文科大学・山形県立保健医療大学・山形県立米沢栄養大学・山形県立産業技術短期大学校・山形県・山形市・米沢市・鶴岡市・酒田市・新庄市・長井市・山形県銀行協会（調査協力/指導助言/講師派遣/プログラム開発協力）

<調査分析・マッチング>

地域課題解決ロジック

STEP4

STP分析
（ターゲットの明確化）

STEP3

マッチング
（アンマッチ解消）

STEP2

人材ニーズ調査
（アンケート・ヒアリング）

STEP1

山形県内リカレント教育
実施状況調査

事業評価
（事業継続性担保）

<コンテンツ集約・広報>

新たなリカレント
教育プログラム開発
（アカデミア × 産業界）



やまぶらリカレント
教育アカデミー（仮称）
構築
（教育コンテンツ集約サイト）

山形県リカレント
教育マップ（仮称）作成



やまぶらHP・マナパス・
jobtag・人材ニーズ調査対象
者へ直接連絡する等で周知

令和4年度
地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業
～申請・採択状況～

1. 申請・採択数

	申 請	採 択
	機関数	機関数
大学コンソーシアム	3	1
地方公共団体	7	5
大学	16	6
計	26	12

2. 採択先一覧

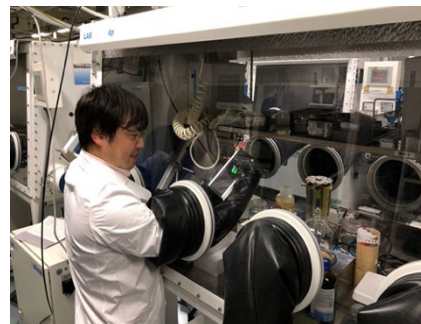
機関種別	機関名
大学	国立大学法人北海道国立大学機構
地方公共団体	岩手県
大学	国立大学法人山形大学
大学コンソーシアム	特定非営利活動法人三鷹ネットワーク大学推進機構
地方公共団体	新潟県
地方公共団体	石川県
大学	国立大学法人三重大学
地方公共団体	京都府
地方公共団体	神戸市
大学	国立大学法人奈良国立大学機構
大学	国立大学法人九州大学
大学	国立大学法人大分大学

令和5年（2023年）5月11日

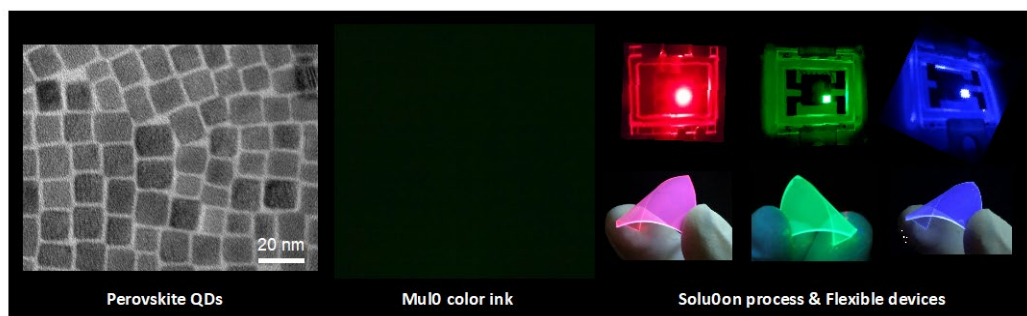
千葉貴之准教授が令和5年度文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞 ～次世代発光材料のペロブスカイトナノ結晶に関する独創的な研究が評価～

【本件のポイント】

- 千葉貴之准教授が令和5年度文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞した。
- 塗布印刷プロセスによる有機・無機半導体層の多積層化技術を用いることで、長寿命化が可能なタンデム有機ELデバイスを世界で初めて開発した。
- 次世代発光材料として期待されているペロブスカイトナノ結晶の表面および化学組成制御、高性能LED開発に関する独創的かつ先導的な研究成果が高く評価された。
- これらの成果は、発光デバイス以外にも、太陽電池、X線検出器、近赤外光変換など、美容や農業、宇宙などの幅広い分野に展開できる。



千葉准教授の研究風景



【概要】

この表彰は、「科学技術に関する研究開発、技術振興、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与すること」を目的として文部科学省が定めているもので、千葉准教授は萌芽的、独創的かつ高度な研究開発能力を有する若手研究者を対象とする「若手科学者賞」受賞者として選ばれました。

対象となった業績は「塗布プロセスを基軸とした有機無機発光デバイスに関する研究」。

この研究により、塗布プロセスでは困難とされていた有機 EL デバイスにおける多積層構造の形成手法を確立し、電極以外の 9 層全てを塗布成膜したタンデム有機 EL デバイスを開発するとともにペロブスカイトナノ結晶 (CsPbX_3 , $\text{X} = \text{Cl}, \text{Br}, \text{I}$) の化学組成置換により発光波長を精密に制御し、青・緑・赤色ペロブスカイトナノ結晶 LED の高性能化を実現しました。

【背景】

有機 EL デバイスは高い輝度、面発光、多色化の特徴を有し、スマートフォンやテレビなどに使用されています。しかしながら、投入電流に比例して高い輝度が得られる一方、有機半導体材料の劣化に伴い短寿命化することが課題となっています。複数の発光ユニットを重ねて多段化したタンデム有機 EL デバイスでは、低い電流密度でも高い輝度が得られることが可能になり、従来不可能とされていた高い輝度下での長寿命化が可能になります。このデバイスでは、9 層以上の多積層構造をとるため、これまでは真空プロセスでのみは作製可能と考えられてきましたが、千葉准教授は塗布印刷プロセスによるタンデム有機 EL デバイスの研究に積極的に取り組んできました。

ペロブスカイトナノ結晶は、高色域な発光スペクトルを示すことから、有機 EL 材料に替わる次世代型 LED 材料として注目されています。しかし、イオン拡散により発光特性の低下するため、ナノ結晶の表面や内部の化学組成の制御が求められています。ペロブスカイトナノ結晶 LED の高性能化を目的として、ナノ結晶の合成・精製から、配位子やハロゲンアニオン置換、デバイス作製までを一気通貫で研究を推進しています。

【研究手法・研究成果】

千葉貴之准教授は、塗布印刷プロセスで多積層構造を形成するため、無機微粒子や高分子材料、分子状の金属酸化物を用いることで、塗布印刷プロセスにおいても 9 層もの多積層構造の形成を可能にし、塗布型タンデム有機 EL デバイスを世界に先駆けて開発しています。これらの成果は、*Advanced Materials* (Impact factor 31) をはじめとする材料科学分野の一流誌に多く掲載されています。

さらに、100%に迫る発光量子収率と高い色純度を有するペロブスカイトナノ結晶 (CsPbX_3 , X=Cl, Br, I) の開発と発光ダイオード (LED) 応用に関する研究を推進しています。ペロブスカイトナノ結晶の表面を有機配位子で被覆することで、有機溶媒に分散するため、これまでの有機半導体と同じように塗布印刷プロセスによる LED 作製が可能になります。千葉准教授は、ナノ結晶の配位子置換や化学組成制御に関する新規手法を開拓し、世界最高水準の高性能 LED の開発に成功しています。関連する研究成果は、トップジャーナルである *Nature Photonics* (Impact factor 39) に掲載され、被引用回数はわずか 4 年で 800 回を超えており、Top 1%論文に選出されています。また、研究代表として、JST A-STEP 機能検証フェーズ (2018-2019 年)、JSPS 科研費基盤 C (2020-2022 年)、JST 戦略的国際共同研究プログラム (2021-2024 年)、NEDO 官民による若手研究者発掘支援事業マッチングサポートフェーズ (2020-2025 年) など多数のプロジェクトに採択されています。また、台湾、中国、カナダ、チェコ、ポーランド、ハンガリー、スロバキアなどの主要な研究機関との国際共同研究を展開しており、国際共著論文 4 報が *Advanced Materials* をはじめとする材料科学分野の一流誌に掲載されています。

これらの業績に対して、第 15 回山形県科学技術奨励賞、2018 MRS Fall *Best Poster Award*、IDW 2019 *Best Paper Award*、2020 年高分子奨励賞を受賞しています。

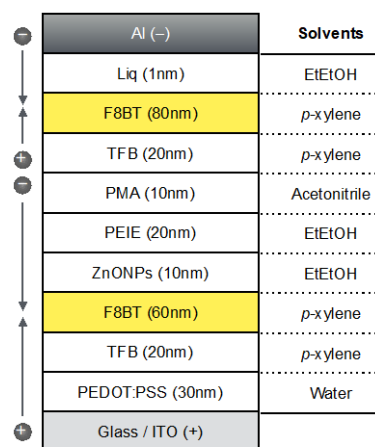


Fig1. タンデム有機ELデバイス構造

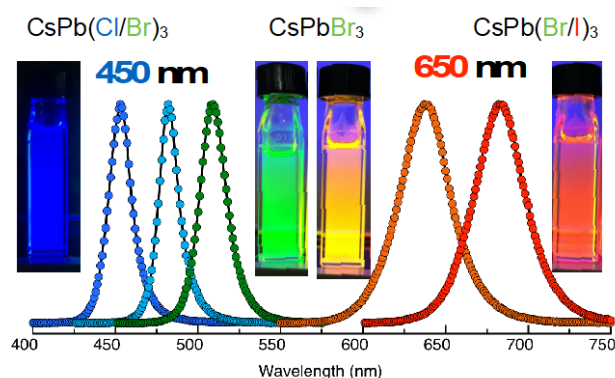


Fig2 ペロブスカイトナノ結晶の化学組成とハロゲン置換

【今後の展望】

これまで培ってきた塗布プロセスによる多積層化技術やナノ結晶の表面制御技術は、発光デバイスの開発にとどまらず、太陽電池、レーザー、X線検出器、近赤外センサーなどへの応用展開が期待されています。

※用語解説 本文中の難しい専門用語やプロジェクトの説明等はまとめて記載

1. タンデム有機 EL 構造

複数の EL ユニットと中間電極から構成される有機 EL の素子構造です。各 EL ユニットからの発光を利用することで、有機材料への電気的な負荷を抑制し、耐久性が大幅に改善されます。

2. ペロブスカイトナノ結晶：ペロブスカイト構造 (CsPbX_3 , X=Cl, Br, I) を有する 10 nm 程度の発光性ナノ結晶材料です。結晶サイズやハロゲンアニオン(X)を変えることで発光波長の制御が可能です。

お問い合わせ

山形大学大学院有機材料システム研究科有機エレクトロニクス研究センター
〒992-8510 山形県米沢市城南4丁目3-16
TEL: 0238-26-3595 メール: t-chiba@yz.yamagata-u.ac.jp

PRESS RELEASE

令和5年（2023年）5月11日

「陸上競技を体験しよう（前期）」開催

【本件のポイント】

- 山形大学陸上競技部所属の学生と監督が講師となって小学生向けの陸上体験会を開催。
- 陸上競技を媒介とした運動プログラムを通して、地域住民が実際に身体を動かしながら、スポーツの楽しさを感じてもらう機会の提供。
- 陸上競技の初心者からすでに陸上競技を行っている子どもたちへ他種目への挑戦の機会を提供し、陸上競技の普及拡大と更なる発展に寄与することを期待。



【概要】

山形大学陸上競技部所属の学生と監督が講師となり、小学生向けの陸上競技体験会「陸上競技を体験しよう！（前期）」を山形大学健康と学びのサポートセンター主催で開催いたします。イベントは全4回を予定しており（後期も計画中です！）会場は山形大学小白川キャンパス陸上競技場です。本イベントは、イノベーションコモンズとして整備されたスポーツインフラを活用した地域貢献を目的としています。陸上競技を媒介とした運動プログラムを通して、地域住民が実際に身体を動かしながら、スポーツの楽しさについて考える機会を提供します。また、陸上競技の初心者からすでに陸上競技を行う子どもへの他種目の挑戦の機会を提供し、陸上競技の普及と更なる発展に寄与することを期待します。国立競技場でも使われているモンドトラックで、陸上競技を体験してみませんか？前期は3～6年生向けの教室となっておりますが、後期は全学年対象の体験会も計画しておりますのでお楽しみに！

【開催要項】

講 師：山形大学陸上競技部 学生
渡邊 信晃（陸上競技部 監督）
（山形大学教授・地域教育文化学部主担当）

日 時：①令和5年5月20日（土）②令和5年6月18日（日）
③令和5年7月1日（土）④令和5年7月23日（日）
各回 13：30 ～ 15：30（受付開始 13：00 ～）

場 所：山形大学小白川キャンパス陸上競技場

参加費：各回 500円

対 象：小学生 3～6年生



【申込方法】

下記の応募フォームからお申込みください。
URL：<https://www.y-cwb.jp/2023/04/post-33.html>

お問い合わせ
健康と学びのサポートセンター
TEL 023-628-4917
メール yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学
Yamagata University

CWB
Yamagata University
Center for Wellbeing



講師 山形大学陸上競技部

講師 渡邊信晃 山形大学教授
地域教育文化学部主担当

小学生 3~6 年生を対象とした陸上競技の体験
会を開催します。山形大学小白川キャンパス
で陸上競技を実際に体験してみませんか？

前期

陸上競技を 体験しよう

短距離走

日時 2023 年 5 月 20 日 (土) 13:30~15:30
対象 小学 3~6 年生 定員 60 名 (先着)
申込期間 5 月 1 日 (月) 12:30
~ 5 月 14 日 (日) 23:59

走幅跳・走高跳

日時 2023 年 6 月 18 日 (日) 13:30~15:30
対象 小学 3~6 年生 定員 60 名 (先着)
申込期間 5 月 18 日 (木) 12:30
~ 6 月 11 日 (日) 23:59

ハードル走

日時 2023 年 7 月 1 日 (土) 13:30~15:30
対象 小学 3~6 年生 定員 60 名 (先着)
申込期間 6 月 1 日 (木) 12:30
~ 6 月 25 日 (日) 23:59

走幅跳・走高跳

日時 2023 年 7 月 23 日 (日) 13:30~15:30
対象 小学 3~6 年生 定員 60 名 (先着)
申込期間 6 月 23 日 (金) 12:30
~ 7 月 16 日 (日) 23:59

会場 山形大学小白川キャンパス
陸上競技場 ※小雨決行

参加費 各回 500円

申込方法

下記の URL もしくは、QR コー
ドから、必要事項をご記入の
上、お申し込みをお願いします。

<https://www.y-cwb.jp/2023/04/post-33.html>

※回数制限なし。※後期 2 回予定



お問い合わせ

山形大学健康と学びのサポートセンター
☎ 023-628-4917 ✉ yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学 健康と学びのサポートセンター

で検索！

PRESS RELEASE

令和5年(2023年)5月11日

山形大学小白川キャンパス運動施設一般公開デー 「地域共創スポーツイベント 大学でからだを動かそう！」開催

【本件のポイント】

- 地域の皆様を対象とした、山形大学小白川キャンパス運動施設一般公開デーを開催します。
- 「山大の施設でからだを動かしたい！」 そんな地域の方々に向けた運動施設開放イベントです。
- 地域の皆様が実際に身体を動かしながら、スポーツの楽しさや運動による健康増進について考えるとともに、イベントを通じて、実際に見て・触れて・遊ぶことで、より身近に山形大学を感じていただきます。



【概要】

地域の皆様を対象とした、山形大学小白川キャンパス運動施設一般公開デー「地域共創スポーツイベント 大学でからだを動かそう！」を開催します。「山大の施設でからだを動かしたい！」 そんな地域の方々に向けた運動施設開放イベントで、小白川キャンパスのスポーツインフラを活用した地域貢献を目的としています。サッカー、ラグビー、陸上競技（かけっこなど）、フライングディスク、ボール投げなどの体験コーナーを設置し、地域の皆様が実際に身体を動かしながら、スポーツの楽しさや、運動による健康増進について考えるとともに、イベントを通じて実際に見て・触れて・遊ぶことで、より身近に山形大学を感じていただくことを目的とします。皆様のご参加をお待ちしております。

【実施内容】

日 時 / 令和5年5月28日(日) 9時30分～12時
※ 随時入退場可
会 場 / 山形大学小白川キャンパス陸上競技場
※ 雨天中止
対 象 / 地域の皆様
参 加 費 / 無料
定 員 / 150名
お申し込み / オンラインフォームからお申し込みください
(申込締切：5月21日(日) 23:59)
<https://www.y-cwb.jp/2023/04/post-34.html>



お問い合わせ
健康と学びのサポートセンター
TEL 023-628-4917
メール yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学



Yamagata University
Center for Wellbeing

山形大学小白川キャンパス体育施設一般公開デー
地域共創スポーツイベント

大学で体を動かそう！

山形大学体育施設の一般開放イベントを行います。グラウンドを会場に、サッカー、ラグビー、陸上競技（かけっこなど）、フライングディスク、ボール投げなどが体験できます。イベントを通じて、実際に見て、触れて、遊んでいただき、より身近に山形大学を感じていただければと思います。ぜひ山形大学小白川キャンパスへお越しください。

2023.
5.28^土
9:30 - 12:00

山形大学
小白川キャンパス
陸上競技場

※小雨決行
※随時入退場可

対象 地域住民の皆様

定員 150名
(先着順)

参加費 無料

申込方法

下記の URL もしくは、右の QR コードから、必要事項をご記入の上、お申し込みをお願いします。
<https://www.y-cwb.jp/2023/04/post-34.html>

詳細はこちら



問い合わせ

山形大学健康と学びのサポートセンター
☎ 023-628-4917
✉ yu-cwb@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和5年(2023年)5月11日
山形大学

＊詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 国立大学法人山形大学とニシム電子工業株式会社との連携協定締結のお知らせ

国立大学法人山形大学（以下「山形大学」）とニシム電子工業株式会社は、相互の連携をより強化するため、連携協定の締結をいたします。

つきましては、以下のとおり協定締結式を行いますので、取材してくださるようお願いいたします。

- 1 日 時 令和5年5月17日（水）9：30～10：00（9：15受付開始）
- 2 場 所 山形大学農学部 1号館 会議室（2階）（山形県鶴岡市若葉町1-23）
- 3 出席者 国立大学法人山形大学長 玉手 英利
ニシム電子工業株式会社 代表取締役社長 山科 秀之
- 4 内 容 協定書署名、挨拶、写真撮影 等
- 5 連携事項 (1) 地域の産業振興に関すること。
(2) 研究シーズの社会実装の推進に関すること。
(3) 人材の育成に関すること。
(4) 教育、文化の振興に関すること。
(5) 環境の保全に関すること。
(6) その他前条の目的を達成するため必要な分野に関すること。

2. 初心者向けドローン講習会を開講 ～仕事等で利用を検討している方に向けた社会人向け講座～

空の産業革命とも呼ばれる無人航空機 UAV、いわゆるドローンに関する法律が日本でも整備され、建設・測量・農業・防災・運輸・映像など各種産業への応用が進んでいます。ドローンに関する知識・技能を備えた人材育成のため、ドローンの法律・操縦・活用に関する初歩的な講習を行います。講師は、地質学・古生物学が専門で、学術研究の実地調査のためにドローンを活用している理学部主担当の本山功教授が務めます。



【開催要項】

「初心者向けドローン体験講習会」

[日時] 令和5（2023）年6月17日（土）9:00～16:00 [基礎知識・法律・制度等の座学、活用事例、操縦訓練]
令和5（2023）年6月24日（土）12:15～19:00 [屋内操縦体験]

※6月24日（土）は、12:15～19:00の内、いずれか1時間30分間の屋内操縦体験となります。

[場所] 山形大学小白川キャンパス理学部棟および体育館

[講師] 本山功（理学部主担当／専門 地質学・古生物学）

[受講料] 15,000円（ドローンレンタル費、フライトシミュレーター利用料、イベント保険料を含む）

※会場までの交通費は、参加者の負担となります。

[対象] 社会人 [定員] 12名

【本講座受講者を対象とした屋外操縦体験・撮影実習を行います。】

[日時] 令和5（2023）年7月1日（土）10:00～15:00（予定）

[場所] 山形市少年自然の家（東村山郡山辺町大字畑谷3725）

[受講料] 5,000円（ドローンレンタル費、イベント保険料を含む）

※会場までの交通費は、参加者の負担となります。

3. AI Prompt Grand Prix 第1回 AI プロンプトグランプリ開催！

日本情報教育学会（JAIE）は、2022 年 11 月にリリースされた ChatGPT をはじめとするジェネラティブ AI の活用を通じて、情報リテラシーの向上をはかることを目的とした「第 1 回 AI プロンプトグランプリ」を開催します！学校・教育関係者や生徒・学生をはじめ、広く一般の方々から活用事例を募集します。AI を禁止するのではなく、活かす社会へ

【スケジュール】応募開始 2023 年 4 月 18 日（火）

応募締切 2023 年 6 月 30 日（金）

表彰式 2023 年 8 月 2 日（水）

令和5年5月11日

報道機関各位

山 形 大 学

国立大学法人山形大学とニシム電子工業株式会社との 連携協定締結のお知らせ

国立大学法人山形大学（以下「山形大学」）とニシム電子工業株式会社は、相互の連携をより強化するため、連携協定の締結をいたします。

この連携協定は、山形大学と、ニシム電子工業株式会社（福岡市）が相互の発展に資するため、デジタルデータを活用した営農活動に係る技術開発及び研究成果等の社会実装、人材交流を促進し、農業分野のデジタル人材育成等で連携し、協力するため次のとおり協定を締結するものです。

つきましては、下記のとおり協定締結式を行いますので、取材してくださるようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和5年5月17日（水）
9：30～10：00（9：15受付開始）
- 2 場 所 山形大学農学部 1号館 会議室（2階）
（山形県鶴岡市若葉町1-23）
- 3 出席者 国立大学法人山形大学長 玉手 英利
ニシム電子工業株式会社 代表取締役社長 山科 秀之
- 4 内 容 協定書署名、挨拶、写真撮影 等
- 5 連携事項
 - （1）地域の産業振興に関すること。
 - （2）研究シーズの社会実装の推進に関すること。
 - （3）人材の育成に関すること。
 - （4）教育、文化の振興に関すること。
 - （5）環境の保全に関すること。
 - （6）その他前条の目的を達成するため必要な分野に関すること。

【本件に関するお問い合わせ先】

山形大学農学部研究社会共創室 折原
TEL：0235-28-2909/FAX：0235-28-2836

PRESS RELEASE

令和5年（2023年）5月11日

初心者向けドローン講習会を開講 ～仕事等で利用を検討している方に向けた社会人向け講座～

【本件のポイント】

- 建設や測量、農業など、さまざまな場面で使われているドローン。本学でも、学術研究の实地調査などで利用されています。
- 今後は、より幅広く各種産業へ応用されることが予想されるなかで、ドローンに関する知識・技能を備えた人材育成を目的に、初歩的な講習を行います。
- 初心者を対象に、ドローンに関する制度、操縦、活用に関して講習を行います。講師は、本山功教授（理学部主担当）が務めます。

【概要】

空の産業革命とも呼ばれる無人航空機UAV、いわゆるドローンに関する法律が日本でも整備され、建設・測量・農業・防災・運輸・映像など各種産業への応用が進んでいます。ドローンに関する知識・技能を備えた人材育成のため、ドローンの法律・操縦・活用に関する初歩的な講習を行います。講師は、地質学・古生物学が専門で、学術研究の实地調査のためにドローンを活用している理学部主担当の本山功教授が務めます。



【開催要項】

「初心者向けドローン体験講習会」

〔日時〕 令和5（2023）年6月17日（土）9:00～16:00 [基礎知識・法律・制度等の座学、活用事例、操縦訓練]
令和5（2023）年6月24日（土）12:15～19:00 [屋内操縦体験]

※6月24日（土）は、12:15～19:00の内、いずれか1時間30分間の屋内操縦体験となります。

〔場所〕 山形大学小白川キャンパス理学部棟および体育館

〔講師〕 本山功（理学部主担当／専門 地質学・古生物学）

〔受講料〕 15,000円（ドローンレンタル費、フライトシミュレーター利用料、イベント保険料を含む）

※会場までの交通費は、参加者の負担となります。

〔対象〕 社会人 〔定員〕 12名

【本講座受講者を対象とした屋外操縦体験・撮影実習を行います。】

〔日時〕 令和5（2023）年7月1日（土）10:00～15:00（予定）

〔場所〕 山形市少年自然の家（東村山郡山辺町大字畑谷3725）

〔受講料〕 5,000円（ドローンレンタル費、イベント保険料を含む）

※会場までの交通費は、参加者の負担となります。

お問い合わせ

エクステンションサービス推進本部

TEL：023-628-4779 メール：yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

初心者向け ドローン 体験講習会

【こんな方におすすめ】

- ◎仕事や趣味にドローンを活用したい
- ◎ドローン購入を検討中で体験してみたい
- ◎ドローンに関する法律や制度を知りたい



空の産業革命とも呼ばれる無人航空機UAV、いわゆるドローンに関する法律が日本でも整備され、建設・測量・農業・防災・運輸・映像など各種産業への応用が進んでいます。ドローンに関する知識・技能を備えた人材育成のため、ドローンの法律・操縦・活用に関する初歩的な講習、および希望者には屋外での実習を行います。

※なお、今秋にも同プログラムの講座を開講予定です。今回、ご都合が合わない場合は、次回の参加をお待ちしております。

定員

12名
(社会人対象)



2023年

【日時】 6月17日(土)・6月24日(土)

※2日間のカリキュラムです。

- 【内容】
- 座学(3時間): 法律や制度について、等
 - フライトシミュレーターによる練習(3時間)
 - ※平日を利用した自主練習も可能です。
 - 屋内操縦体験(1人1時間30分)
 - 屋外実習(3時間) ※7月実施予定・希望者のみ

お申込み前にHPの募集要項を必ずご確認ください

山形大学小白川キャンパス

【会場】 ※山形大学にお越しいただく際には、公共交通機関や近隣の有料駐車場などのご利用をお願いいたします。近隣の施設や店舗の駐車場は利用しないようお願いいたします。※屋外実習は山形市近郊の施設を予定。

【受講料】 15,000円 | ドローンレンタル費
シミュレーター利用料、含む
(屋外実習参加の方は、別途5,000円いただきます)

●申込方法

2023年6月12日(月)AM8:30までに、エクステンションサービス推進本部のホームページからお申込みください
(定員になり次第終了) ▶▶ <https://www.y-ex.jp/>



主催 | 山形大学 Yamagata University
YEX Yamagata University Extension service organization

協力 | 三協コンサルタント株式会社

山形大学
災害環境科学研究センター

山形大学
エクステンションサービス推進本部
問合せ | yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
☎023-628-4779



初心者向けドローン体験講習会

募集要項

■概要

空の産業革命とも呼ばれる無人航空機 UAV、いわゆるドローンに関する法律が日本でも整備され、建設・測量・農業・防災・運輸・映像など各種産業への応用が進んでいます。ドローンに関する知識・技能を備えた人材育成のため、ドローンの法律・操縦・活用に関する初歩的な講習を行います。

■対象

ドローン初心者の社会人

(例) ・仕事や趣味にドローンを活用したい

・ドローン購入を検討中で体験してみたい

・ドローンに関する法律や制度を知りたい

※体験講習会のため、修了証や独自の資格証の発行などはありません。

■場所

山形大学小白川キャンパス理学部 1 号館および体育館

■開講日時

2023 年 6 月17日、6 月24日(両日土曜・2日間)

※1 日目と 2 日目の間の平日でフライトシミュレーターを使った自主練習も可能

※本講座受講者を対象とした屋外操縦体験・撮影実習を 7 月 1 日に実施

※同プログラムの講座を 2023 年秋の 2 日間で開講予定

■講師

本山功 教授(理学部 主担当／専門 地質学・古生物学)

【特別講師】三協コンサルタント 様

■定員

12 名

■受講料金

15,000 円

※ドローンレンタル費、フライトシミュレーター利用料を含みます。

※会場までの交通費は、参加者の負担となります。

■スケジュール

・1日目

9:00～11:00	・Introduction ・ドローンに関する基礎知識 ・航空法などドローン利用に関する法律および制度 ・安全に関する注意点
11:10～12:00	・ドローンの活用事例（講師：三協コンサルタント 様）
13:00～16:00	・フライトシミュレーターを使用した操縦訓練

※平日を利用したフライトシミュレーターの自主練習も可能です（要事前予約）

・2日目

12:15～13:45	屋内操縦体験 ※3名ずつ実施 ※左記の時間帯のいずれか 1 時間 30 分行う。
14:00～15:30	
15:45～17:15	
17:30～19:00	

■屋外実習について

本講座受講者を対象とした屋外操縦体験・撮影実習を行います。

・開講日時：2023年 7 月1日(土) 10:00～15:00

※雨天延期(予備日：7 月 2 日(日)、7 月 8 日(土))

・場所： 山形市少年自然の家(東村山郡山辺町大字畑谷 3725)

・参加費： 5,000 円(ドローンレンタル費、イベント保険料を含む)

■申込方法

開催要項の内容を確認した上で、山形大学エクステンションサービス推進本部のホームページよりお申込みください。【応募締め切り：6月12日(月)AM8:30】

<https://www.y-ex.jp/>

AI Prompt Grand Prix

JAIE

AIを禁止するのではなく、活かす社会へ。

第1回 AI プロンプトグランプリ開催！

多彩な使用例で情報リテラシーの向上を目指す

日本情報教育学会(JAIE)は、2022年11月にリリースされた ChatGPT をはじめとするジェネラティブ AI の活用を通じて、情報リテラシーの向上をはかることを目的とした「第1回 AI プロンプトグランプリ」を開催します！

学校・教育関係者や生徒・学生をはじめ、広く一般の方々から活用事例を募集します。
AI を禁止するのではなく、活かす社会へ

背景

ジェネラティブ AI チャットサービスとして話題となっている Open AI の ChatGPT は、サービス公開からわずか3ヶ月で1億人以上のユーザーを獲得。利用価値が高いことから様々なシーンでの活用が見込まれています。急速なユーザーの増加に伴い、情報リテラシーの向上が急務となっていることから、今回のグランプリを創設することになりました。

目的

第1回 AI プロンプトグランプリでは、技術的な優劣だけでなく、社会課題の解決を目指したユニークな活用方法を募集することで、ジェネラティブ AI のリテラシーを単に禁止するのではなく、積極的に活用していく社会づくりを応援していきます。

賞

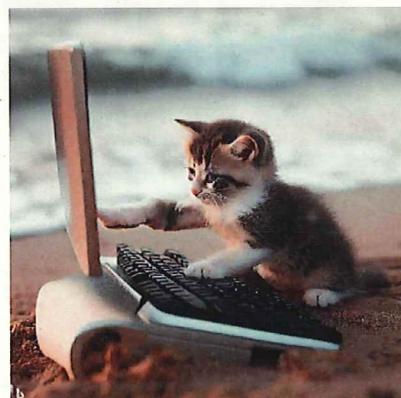
AI プロンプトグランプリでは大賞1名のほか、企業団体賞の贈呈を予定しています。

大賞 1名 副賞 10万円

企業団体賞

- ・かまくらさちこ株式会社賞 副賞 3万円
- ・エイスリー賞 副賞 Amazon ギフト券 1万円分
- ・ラストワンマイル賞 副賞 Amazon ギフト券 1万円分
- ・DAO Inc.賞 副賞 Amazon ギフト券 1万円分
- ・デジタルストーリーテリングラボ賞 副賞 Amazon ギフト券 1万円分

※ 副賞の提供については、企業や団体賞の提供を呼びかけていきますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。



審査員

板津 木綿子(東京大学大学院情報学環 教授)

今井 浩(クリックテック・ジャパン(株) カントリーマネージャー/執行役社長)

遠藤 隆也(元 NTT アドバンステクノロジー技師長)

加納 寛子(山形大学 学術研究院 准教授)

清水 啓太郎((株) Play Life Studio 創業者・代表取締役/CEO)

鈴木 直樹(東京学芸大学 教育学部 准教授)

高倉 暁大(認定司書/「格闘系司書」として図書館でゲーム企画開催)

中鉢 欣秀(東京都立産業技術大学院大学 産業技術研究科 教授/先端ソフトウェア工学研究所 所長)

水田 千恵(ヤフー株式会社 Developer Relations アドボケイト/Web メディア『Future Questions』編集長)

宮田 和樹(青山学院大学総合文化政策学部デジタルストーリーテリングラボ主担当教員)

山本 直樹(株式会社エイスリー/代表取締役)

Dr.Irene C. Taguinod (IT Lecturer Mazoon College Muscat Oman)

Dr.Rod Velasco (Gulf College, Oman and Institute of Industry and Academic Research, Inc., Philippines)



スケジュール

応募開始 2023 年 4 月 18 日(火)

応募締切 2023 年 6 月 30 日(金)

表彰式 2023 年 8 月 2 日(水)

※表彰式はメタバースのワールドで開催予定です。

主催. JAIE AI プロンプトグランプリ実行委員会



<https://aipromptgrandprix.jp/>

問い合わせ.

aipromptgrandprix@googlegroups.com